



川北中学校 学校だより

キラリ☆ 川北中



令和6年 3月 1日
校長 沖田 尚

卒業・進学・進級に向けて

3月になり、今年度に残された日々はわずかとなりました。3月9日には卒業式があります。3年生はそれまでに公立高校入試があります。そのための勉強をできるのもわずかです。今は、少しでも力を伸ばすために、とにかくがんばりましょう。

卒業式は、中学校3年間での最後の授業の日となります。卒業式では、一人一人に卒業証書を渡します。卒業証書には、「中学校の課程を卒業したことを証する」

とだけ書かれています。この短いことばの中に、中学校3年間で学ばなければならない知識や技能・力・心を全て身に付けたことや、これから社会に出ても自分の力でたくましく生きていくことが出来るという意味が込められています。3年生は、3年間の中学校生活そして9年間の義務教育で貴重な体験を積み重ね成長してきました。卒業を前に、自分が重ねてきた学びの一つ一つを振り返り、できるようになったことを確かめてみましょう。このような意味を考えながら、卒業式までの日々を大切に過ごしてください。



そして、4月からは1～3年生全ての人に新しい生活が待っています。3年生は新たなステージが待っています。義務教育を終え、一段と自分の行動に自覚と責任が求められます。自分がやりたいことをしっかりと心に持って、自分のためにがんばって下さい。可能性は無限に広がっています。

1、2年生は、3年生から学んだ川北中学校をよりよい学校にしていくことを引き継ぎがんばって下さい。4月には新しく64名の後輩も入学してきます。先輩としての心構えをしっかりと持ちましょう。卒業まであと8日、進学進級まであと1か月。しっかりと気持ちを高めて準備しましょう。



「がんばろう!!能登」

令和6年能登半島地震から2か月が過ぎました。テレビや新聞では、能登でも少しずつ元の生活に向けて動き始めていることが報道されていますが、まだまだ大変な状況は変わりないようです。

川北中学校では、能登のために自分たちができることとして、1月に生徒会主催の募金活動を行いました。また、教頭先生と土川先生が、珠洲市の緑丘中学校へ訪問し、緑丘中学校の生徒と授業をしてきました。緑丘中学校は全学年2クラスの学校ですが、半数以上の生徒は金沢へ避難しており、残った生徒との授業だったようです。生徒は非常に明るく元気いっぱい、楽しく授業できましたが、体育館はまだ避難所になって



おり、断水が続いているためトイレや給食等も簡易的な状況だとのこと。

そのような状況を川北中学校の授業で話したところ、生徒からもっと緑丘中学校のことを知り、緑丘中学校を応援したいという声が上がリ、「緑丘中学校応援プロジェクト」と名付け、職員室前掲示板に緑丘中学校のことや授業の様子を紹介するコーナーを作りました。そんな中で、生徒会から緑丘中学校へメッセージを送ろうというアイデアが出されました。昼の校内放送で、生徒会執行部と3年生の谷口志朗さんから全校生徒に協力をお願いをしました。谷口さんは、小学生の頃珠洲市に住んでおり、緑丘中学校にもたくさんの友達がいるとのこと。準備は短い時間でしたが生徒全員と先生方が、



桜の花びらの形の用紙に心がこもった応援メッセージを書きました。クラスごとに貼り付けたものを9枚作成し、しばらく掲示板に展示したあと、一昨日、教頭先生が緑丘中学校へ「かわきたんせんべい」と共に届けてきました。緑丘中学校の生徒や先生方はとても喜んでくれたと聞きました。メッセージを読むことで緑丘中学校の生徒や先生方が少しでも元気を出してくれるといいですね。

夢を応援するしおり

～川北郵便局さんより～

卒業前の3年生生徒全員に川北郵便局より「夢やぶれない」しおりが届きました。これは、地元の加藤和紙さんの加賀雁皮紙を使って郵便局の方が手作りで作成したものです。雁皮紙は、和紙の王様と呼ばれ、非常に丈夫で破れにくい性質を持っており、県指定伝統的工芸品になっています。「夢は、努力すれば破れることなく必ず叶います」とのメッセージと共に、代表の東大輔さん、津田愛心さんに新谷局長さんより手渡されました。

